平成28年度第6回千代田区魅力発信会議

会議録

平成 28 年度第 6 回千代田区魅力発信会議 会議録

日時：平成 29 年 3 月 16 日（木）午後 6 時 30 分～

会場：千代田区役所 4 階 研修室

【1 開会】 18:30～

オリンピック・パラリンピック担当課長挨拶

【2 資料確認及び委員出欠確認】

・配布資料確認・照合

【3 議題】

●議題 (1) 会議の公開・非公開について

【事務局高野説明】

本会議については原則として公開とし、事前に傍聴者を募ったが事前申し込みはなかった。

●議題 (2) 「平成 27 年・28 年度千代田区魅力発信会議におけるまとめ」最終報告について

【委託事業者説明】

- ・「千代田区シティプロモーションの推進に係る検討について～平成 27・28 年度千代田区魅力発信会議におけるまとめ」を基に説明。
- ・27 年度は、区民、区外の日本人、区外の外国人の対象ごとに、区の魅力を体系化し、28 年度は体系化した区の魅力を発信する具体策を検討してきた。
- ・検討の方法として具体的な発信手法の検討を効果的に行えるよう、3 回のワークショップ形式にて検討を行った。
- ・ワークショップ形式【1】魅力発信に共通した「コンセプト」の策定。千代田区の魅力発信の「コンセプト=発信に共有する目印」の考え方を検討。
- ・ワークショップ形式【2】重点ターゲットに向けた「コンテンツ」の策定。区民・区外の日本人・外国人の中でも重点とするターゲットを抽出し、魅力同士を結び付けて体験してもらい、モデル的な千代田区体験コースを発信のコンテンツとして検討。
- ・ワークショップ形式【3】発信手法の策定。発信の対象者（区民・区外の日本人・外国人の 3 者）ごとに発信手法を検討し、効果的な発信手法となるよう、3 者に共通する目印のあり方を検討。〈1〉居住地で認知・訪問動機づけ、〈2〉訪問から体験に誘導、

- <3>体験者が感動や満足を発信・共有化、という3つの視点から発信手法を検討した。
- ・以上から、区の魅力を発信する具体策をとりまとめた。

●議題(3) 総括

【事務局高野説明】

千代田区魅力発信会議は2年間活動してきた。27年度は4回の会議を行ない、千代田区の魅力を初心に帰って整理、体系化をおこなった。28年度はその魅力をどう発信していくのか、その具体策を検討していただいた。また、フェイスブックで魅力を発信して閲覧者の反響から検討の参考にすることができた。今後、今までに発信した記事に関しては、引き続き残していくことを考えている。千代田区魅力発信会議を行った2年間の検討は区にとって財産であり、この結果は皆様の検討結果として受け止めさせていただく。魅力発信会議は終了するが、シティプロモーションについては、今後、区としての対応を検討していく。今後ともシティプロモーションの推進について皆様に応援いただきたいと思っている。

●【岡本座長まとめ】

2年間活発なご意見、様々なご意見をいただいたことにより、方向性を見いだしながら議論が出来たのは非常に良かったと思う。あるものをすべて出し切るのは難しいが、一定の方向性に収れんできたと思う。個人的には、何年もフェイスブックを使っていなかった、私もこの機会に発信をするなど、一定の影響があったと感じている。どのようなメディアをどのように使うのか、難しいところもあるが、まずは試してみることで感じた。この会議は、オリンピック・パラリンピックに向けたシティプロモーションについて検討するため始まったが、それはあくまでもきっかけにすぎないと思っている。この会議での議論を、今後も大いに活用してほしい。

【議事終了】

●岡本座長

議題がすべて終了したことを宣言。

【閉会】